

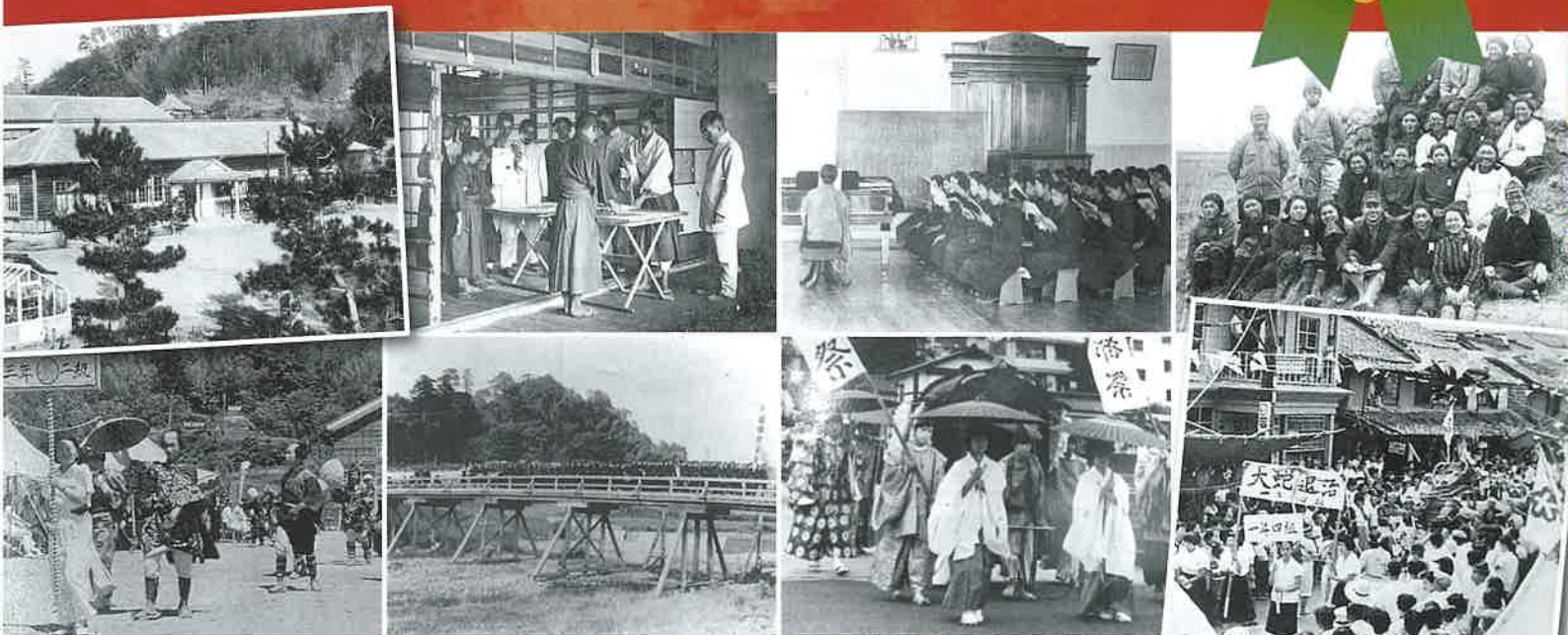


じょうほう 織部

平成30年度
特別号

12月10日発行
PTA広報委員会

大東高校PTA会報



100周年



One hundredth



anniversary



会長挨拶

今年度も半年が過ぎ、皆様には大変お世話になりPTA事業が進められておりますこと御礼申し上げます。また、本年は創立100周年事業として学校施設等の整備などがなされました。より良い学び舎となり学力等あらゆる面での向上につながると思います。ご承知のとおり、10月6日に開催予定であった記念式典などは誠に残念なことに中止となりましたが、創立100周年実行委員会の安原実行委員長は「式典は台風で中止となったが母校への思いは消えない。百年の歴史は吹き飛ばされるものではない。」こうおっしゃいました。その言葉のとおり、これまで引き継がれてきたものはゆるぎなく、そして未来へ繋がると信じています。これまで御寄付をいただいた方、準備に関わっていただいた方々には心から感謝しています。今後は、中止となった事業を補う形での企画を実施していくことになると思われまますので、ど

PTA会長 原田 憲一



うか引き続きのご協力よろしくお願ひします。

そのほかPTA事業では、織部祭などに多数の皆様を盛り上げていただいております。私自身は、8月に佐賀県で開催された全国高等学校PTA連合大会に参加しました。とても有意義な研修でした。基調講演された、山本シュウさんはテレビ出演もされていますが、小学校PTA会長をレモンの被り物を身に着けてされた方です。誰もが親戚のように声を掛け合う学校のPTA活動をすることで、人間ひとりひとりの命の尊さを伝え、学ぶことの意味を理解すべきだということをお話いただきました。研修での学びは広く皆様にお伝えすべきだと思いますので、興味のある方はぜひお声掛けください。

以上簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

未来への学び

保護者の皆様におかれましては、平素から本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年度、本校は100周年の記念の年を迎えました。台風で、10月6日の式典・講演会は取りやめになりましたが、12月21日の終業式には、実行委員の皆さんに立ち会っていただき、校内式典を、来年5月には池上彰先生の講演会を再設定して行う予定にしています。100年という歴史を一つの区切りとし、歴史の重みを実感するとともに、本校の歴史をつむいでこられた方々に感謝し、次の時代に踏み出す力をいただく。改めて、そのような会を計画したいと考えています。

100年という節目と期を同じくして、教育も大きく変わろうとしています。その一つがこれまでの教師主導型の授業から、学習者主体の授業への転換です。何を教えたかではなく、何を学んだかに力点を置き、「主体的、対話的で深い学び」を構築していくことが私たち教員に求められています。一方で、生徒たちにも個々の教科の学習のみならず、教科と教科を主体的につなぎ、自らの課題とするテーマを探究していこうとする姿勢が求められます。

本校では「総合的な学習の時間」で「SIM雲南」(シミュレーション雲南)に取り組んでいます。地域の課題を地方行政の視点から考え、他の生徒と議論をしながら、協働的に課題解決に当たろうとすることを主眼としていますが、その経験を踏まえ、実際に自分自身が気付いたり、考えたりした地域課題に係る内容を探究していく過程の中に、各教科で

校長 中村 訓子



の学びを深める要素が潜んでいると考えます。

10月末には、各クラスにプロジェクターと実物投影機を設置し、ICTを使った教育活動が行えるよう環境整備を行いました。視線を上げて見ること、考えること。お互いに考えたことをきちんと説明すること、学んだことを「見える化」すること。そのことによって、生徒たちの学習が深まり、学ぶ意欲が一層高まっていくことを期待しています。

また、現1年生から大学入試が大きく変わろうとしています。特に英語では民間の検定試験の導入も含めて、4技能(「話す」「聞く」「読む」「書く」)をどのように評価するかが議論されているところです。さらに、今のセンター試験に代わる「大学入試共通試験」では、国語と数学で記述試験が導入されることが既に決まっています。推薦入試やAO型の入試も「学力」をはかる何らかの試験を課す方向で動いています。

時代は加速度的に進んでいます。例えば医療現場では病気の診断を行うAIの研究が進められていたり、既にインターネットの世界では、検索履歴からその個人の興味関心のありそうな情報が提示され、自分の欲望すらも操作されているといわれるような状況が現実になっています。平均寿命も、今の小学校5年生は107歳まで生きると予測されるような時代を迎えて、これまでの社会的通念や常識は通用しなくなるかもしれません。しかし、そのような社会に向かう時代だからこそ、自分はどうように生

きるのか。人間とは何か。といったような、根源的な、哲学的な問いを意識することが重要になっているように感じます。

進む道に正解はない。人生の局面でその都度心は揺れ動くかもしれない。けれどそれでも自分自身の未来を前向きに切り拓いて行く。誰かとともに生きていくこの社会をより良くしようと志す。そして、

自分の幸せと他人の幸せをつなげようとする。そんな未来を創り出す意志と意欲を持った生徒たちを保護者の皆様とともに、この大東高校の教育活動で育てていきたいと願っています。改めて、本校の教育に更なるご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



総務委員会

委員長 佐々木 誠

総務委員会では、今年度も学園祭の初日に模擬店を出店し、カレーライスとジュースを販売しました。当日は、担当の先生方と総務委員が中庭と調理室の二手に分かれて準備を進めました。中庭では、大鍋を使用し大量の野菜を炒め、カレーを作りました。木製の大きなヘラを使い野菜を炒め、焦げないようにするのが大変でした。また、炊飯(12升)を行うのも一苦勞で、カレーライスに合う米の堅さになるように、何度も水の量を調整しました。調理室では、委員会の皆様に大量の食材を次から次へと切っていました。

カレーは11時前には完成していました。販売時間になると、生徒の長蛇の列ができ、あっという間に完売しました。模擬店の出店に当たりご協力いただいた皆様には、大変感謝申し上げます。ありがとうございました。



育成委員会

委員長 高田 浩二

広報委員会

委員長 野津 道人

育成委員会では、夏祭りのパトロールを先生、保護者のご協力により「加茂二十三夜祭」と「大東七夕祭り」で行いました。いずれのお祭りも、たくさんの生徒の笑顔が地域の賑わいの中心となっていて、大人も子どもも楽しそうなお祭りの雰囲気、本来のパトロールを忘れて心が和みました。記録的猛暑で勉強も部活も苦勞した夏だったと思いますが、いい思い出になったことと思います。

こうした姿を見るにつけて、大東高校の生徒を取り巻く育成環境は「生徒と地域の関わりで、生徒が地域を育て地域が生徒を応援するとてもいいものだ。」と感じます。印象的なマスコットの「おりべちゃん」も生徒が積極的に地域に出かけて取り組む地域課題研究から誕生したと聞き、なおさら眩しく見えました。

これから先の地域を考える上で、高校生に対する期待はますます高まっていくものと思います。すでに子どもたちは地域課題の解決へ向けて地域活動に参加していることを顧慮して、私たち保護者もこれを応援し、地域や育成環境を変化させていく努力が必要だと思えます。

今年度も重要な後半戦に突入しました。生徒が安心してそれぞれの目標達成に向かえるよう、引き続きご協力をお願いします。

広報委員会では、P T, A会報「じょうほう織部」を発行しています。今年度から年1回の発行となり、ページ数も変更となりました。発行回数が少なくなりましたので、盛り込む情報を選択することも作業としては重要になります。また、生徒の皆さんができるだけたくさん本誌に登場してもらえるように、写真もふんだんに掲載していく予定です。次年度以降の委員さん方には、本誌が大東高校の歴史をたどる価値ある資料となるように、さらに質を高めていただけたらと思います。

さて、今年度の上半期は、入学式に始まり、球技大会や県総体、文化祭、体育祭など、たくさんの行事がありました。きっと、そのひとつひとつにおいて生徒の皆さんが成長するきっかけがあったことと想像します。特に部活動においては、全国大会出場に向けて、日々努力を重ねてこられたことでしょうか、文化部の皆さんも、コンクールや発表会などの様々な場面で活躍してこられたことと思います。部活動では、各々の技術力の向上はもちろんですが、人として成長することができたのではないのでしょうか。挨拶がとても良い大東高校と、地域でも評判です。その爽やかな音声を紙面に残すことはできませんが、生徒の皆さんの明るい表情で紙面を華やかにすることはできます。

残り数か月の今年度も、明るく爽やかに充実した学校生活を送り、広報委員会に素敵な写真をたくさん提供してください。



総合的な学習の時間

自分と離れた“誰か”の暮らしを 「自分ごと」にする総合的な学習の時間

今年度より大東高校の教育魅力化コーディネーターに着任しました起塚拓志です。

2018年度の総合的な学習の時間は、地域・社会の出来事を「自分ごと」として考える力を育むことをめざし、地域の学びの資源を活用した様々な取り組みに挑戦しています。

今年度より1・2学年共通して「SIM雲南2030」という活動を新しく導入しました。「SIM雲南2030」は、行政運営のしくみを体験できるシミュレーションゲームです。ゲームの舞台は、財政危機を迎えた2030年の「仮想雲南市」。まちの存続のため、カード化された15枚の行政事業の中から、削減する事業を話し合っ決定します。

地域団体の活動をサポートする「まちづくり活動推進事業」や、人口の社会増をねらった「U・Iターン推進事業」、新規就農者の補助を行う「農業活性化事業」など、どれも簡単に削減することができない事業ばかり。事業カードを通して多種多様な社会領域にふれながら、まちの存続と人々の幸せを両立することのできる答えを探ります。

「この事業を削減したら、困る人は誰？どんなことが起こる？」

「他の事業と組み合わせたら、削減してもカバーできるのでは？」

削減する事業を決める議論の過程で、まちの未来やそこに暮らす人々の暮らしを想像する思考力と視野の広さを育みます。

1年生では、5月に例年実施している「社会人カタリ場」に加え、今年度より夏休みに地域に出掛けてボランティア活動を行う「地域フィールドワーク」も実施しています。身の回りの大人や地域を肌で感じられる体験を通し、「SIM雲南」での深い学びにつなげています。

2年生では、「SIM雲南」から発展させた「地域課題研究」にて、オリジナルの行政事業を考案する活動に取り組んでいます。「こうありたい未来」に向かう方策を考える活動を通して、課題を適切に設定し、解決する力を育んでいます。

昨今、不透明さを増す未来社会を幸せに生きるために必要な力として様々な資質・能力が挙げられています。様々な人の立場を想像し、少しでも多くの人を幸せにする「納得解」を導く力もその一つ。雲南市の学びの資源を活かして、社会を観る眼を広く・深く育てる総合的な「探究」の取り組みを今後も続けて参りたいと思っています。



100周年

One hundredth  anniversary

タイムカプセル埋設式



記念品



主な整備品・購入品など SPECIAL THANKS



前庭整備



記念碑



体育館暗幕



体育館緞帳



玄関幕



屋外時計



マイクロバス



大講義室音響・Wi-Fi

芦田 裕昭さん (第6期卒業生)



芦田 裕昭 先生
K. YASUAKI
K. YASUAKI

百周年を記念して
絵をご寄贈いただきました

長年にわたり部活動の
ご指導をいただいております

- ◆ 大倉 昭憲さん (空手道部)
- ◆ 須山 二三子さん (地域文化部 (茶道))
- ◆ 武田 豊さん (ソフトボール部)
- ◆ 板持 裕朗さん (陸上部)

SPECIAL THANKS

この場をお借りしてお礼申し上げます

部活動報告 Photo Gallery

第56回県高校総体が、県内の各地で行われました。結果、大東高校は学校対抗で、男女総合Bグループ 第2位となりました。



陸上部



バドミントン部



バレーボール部



剣道部



ソフトテニス部



バスケットボール部



ソフトボール部



空手道部



野球部



吹奏楽部



美術部



地域文化部(茶道)



写真部



地域文化部(生活科学)



地域文化部(JRC)

県総体以降の主な成績 (11月12日現在)

◆ 空手道部

- 全国高校総体(インターハイ) 日時: 8月3日(金)~8月6日(月)
会場: 岐阜メモリアルセンターで愛ドーム(岐阜県岐阜市)
結果: 女子個人組手 石飛みなみ 一戦敗退(1-3)
女子団体組手 大東 0-5 光明学園相模原(神奈川) 2回戦敗退
- 県新人戦(11/3、松江)
 - 女子団体形 決勝戦 大東 2-3 松江南 → 2位で中国選抜大会出場
 - 女子団体組手 決勝戦 大東 4-1 松江南 → 1位で中国選抜大会出場
 - 男子団体形 1回戦 大東 0-5 出雲工 → 3位で中国選抜大会出場
 - 男子団体組手 1回戦 大東 1-2 出雲工 → 3位で中国選抜大会出場
 - 女子個人形 3位 新田真子 ベスト8 渡部夢叶 → 中国選抜大会出場
 - 女子個人組手-53kg級 2位 福岡咲和 3位 渡部夢叶 ベスト8 後藤夏希 → 中国選抜大会出場
 - 女子個人組手-59kg級 1位 青木優名 2位 神庭姫乃 4位 青木真実 → 中国選抜大会出場
 - 女子個人組手+59kg級 1位 新田真子 2位 田部美里 → 中国選抜大会出場
 - 男子個人組手-61kg級 ベスト8 恩田真聡、高田風吹 → 中国選抜大会出場
 - 男子個人組手-68kg級 2位 門脇ユウジ → 中国選抜大会出場

◆ バドミントン部

- 県高校選手権大会(9/8~9)
 - 男子シングルス 3位 澤和浩太郎 / ベスト8 藤井大翔
 - 男子ダブルス ベスト8 長廻・澤和組 / 武田・藤井組 / 松本・吉川組
 - 女子シングルス 3位 小山千穂 / ベスト8 小山紗季、榎原悠華
 - 女子ダブルス 2位 小山紗・榎原組 / 3位 小山千・日野組 / ベスト8 影山・坪井組
- 県高校新人大会(11/9~11、松江市総合体育館)
 - 【男子】学校対抗戦 2位
個人戦シングルス ベスト8 藤井大翔
 - 【女子】学校対抗戦 2位
個人戦シングルス 3位 小山千穂(中国選抜大会出場)
ベスト4 榎原悠華
ベスト8 小山紗季
 - 個人戦ダブルス 2位 小山紗・榎原組(中国選抜大会出場)
ベスト4 小山千・日野組
ベスト8 坪井・影山組



応援をいただきましたたくさんの皆様、本当にありがとうございました。

◆ 陸上部

- 中国五県陸上(8/19)
女子200m 永瀬望 出場
- 県高校新人(9/16~17)
女子やりなげ 藤本愛佳 3位(中国新人出場)
- 中国新人陸上(10/14)
女子やりなげ 藤本愛佳 出場

◆ ソフトボール部

- 県高校選手権大会(9/16~17) 優勝

◆ 剣道部

- 県高校選手権大会(10/27~10/28)
 - 【男子団体戦】準優勝
 - 【男子個人】松本直樹 優勝



◆ 写真部

- 秋季写真コンクール(10/19)
特選3作品(内田薫里1作品、加藤志歩2作品)

◆ 吹奏楽部

- 第59回全日本吹奏楽コンクール島根県大会(8/11)
高等学校小編成の部 金賞

◆ 美術部

- 信州総文祭2018(8/7~8/11)
推薦作品: 持田菜々香

学校行事

- 4/9 1学期始業式
- 4/10 入学式
- 4/17 遠足(1・3年生)
- 4/25 前期生徒総会
- 5/25~5/27 前期総体
- 5/31 総体時奉仕作業
- 5/31 ~ 6/3 後期総体
- 6/24 勉強合宿
- 7/10 球技大会
- 7/20 1学期終業式
- 8/21 2学期始業式
- 8/23 オープンスクール
- 8/29 ~ 9/3 織部祭
- 9/19 立会演説会
- 10/3 後期生徒総会
- 10/15 避難訓練
- 10/16 企業見学・進路見学会
- 10/31 遠足(2年生)



入学式



勉強合宿inさんべ



球技大会



オープン
スクール



企業見学
進路見学



避難訓練



奉仕作業



1年生



2年生



3年生

遠足



織部祭

